大規模地震発生の各種情報発信時・発生時の対応

　市の災害マニュアルをもとに、大規模地震発生の各種情報発信時・発生時の対応は、以下の通りとします。

１．「注意情報」が出た場合

（ア）登校前、自宅待機をさせてください。

（イ）登校時、原則として帰宅する。（ただし、学校近くまで来ている場合は学校へ来る）

（ウ）在校時、保護者と連絡を取り下校させる。

（エ）下校時、そのまま下校する。

２．「予知情報」が出た場合

（ア）登校前、自宅待機をさせてください。

（イ）登校時、原則として帰宅する。（ただし、学校近くまで来ている場合は学校へ来る。学校では運動場や体育館など安全なところへ一時避難する）

（ウ）在校時、安全な場所へ一時避難する。その後、情報を的確に把握し、安全が確認できたら、保護者の迎えで下校する。保護者の迎えが不可能な場合は、校内で待機させる。

（エ）下校時、自宅又は学校の近い方に行く。学校へ来た場合には、保護者の迎えで下校する。

３．大地震発生時した場合

（ア）登下校時、大きな揺れが来たら、家や壁などのそばからなるべく離れてうずくまる。揺れがおさまったら、学校か家の近い方へ行く。

（イ）在校時、次の行動を取る

　　①大きな揺れが来たら、

・教室内　　…蛍光灯の下や窓際から離れ、机の下にもぐる。

　　 ・他の校舎内…蛍光灯や窓の下などから離れ、その場でうずくまる。

　　 ・校舎外　　…校舎からなるべく離れ、その場にうずくまる。

　　②大きな揺れがおさまったら、

・避難経路や避難場所に関する放送（あるいは先生の連絡）を聞く。

　　 ・階段や天井・蛍光灯・窓などの崩れに注意し、避難場所に集合する。

 ③通学路などの安全が確認されたら

　　 ・保護者の迎えで下校する。

　　 ・下校できない生徒については、学校で待機する。

４．宿泊学習・校外学習

　（ア）事前に活動場所で大規模地震が起きた場合を想定し、どこにどう避難するか指示しておく。

　（イ）大規模地震が起きたら、建物や窓から離れ低い姿勢をとらせる。大きな揺れがおさまったら、避難場所に移動する。途中の道が危険な場合は、公園などなるべく広い場所に避難する。

　　　 旅館など室内にいて、建物の損傷が少なく安全と判断された場合は、旅館の指示により建物内で待機する。

　（ウ）その土地の役所などの指示に従ってその後の行動を決定する。

　（エ）可能な限り学校へ連絡を入れ状況を報告する。学校から「あんしんメール」を利用して、保護者へ伝える。

５．その他

　・上記のことを想定し、日頃から生徒へ伝えておくとともに、命を守る訓練を計画に沿って実施する。